就職活動応援特集

各社の誇る、現場で活躍する社員

地球環境への貢献を実感

月島ジェイテクノメンテサービス
東日本維持管理第一部
維持管理第一課
青柳 貴大さん

■決め手はインターン

熊本地震で親戚が被災し、上下水道インフラの機能不全について話を聞いたことがきっかけとなり、大学では上下水道関係の研究ができる水環境工学の研究室に入りました。研究テーマは下水処理における臭気物質生成菌の特定です。研究では大学近くの下水処理場でサンプルの採取をしていました。

研究を生かせる会社で働きたかったということもあり、就職活動は上下水道関係の仕事を軸として進めました。当社への入社は、インターンシップで大学OBが在籍していることを知り、話を聞く中で決めました。またインターンシップでは、実際に働いている事業所を生で見ることができ、仕事をしている時のイメージが掴みやすかったことも決め手になりました。

■焼却炉を保全

入社後は新人研修を経て現在の職場の配属になり、6年目になりました。下水処理場は基本的に、下水をきれいにして水を自然に返す水処理施設と、水処理で発生した汚泥を処理する汚泥処理施設に分かれています。私が所属している下水処理の事業所では、汚泥処理施設の運転管理や設備のメンテナンスを行っています。

私の担当は汚泥焼却設備の運転管理と修繕で、ほとんどの日は定時に帰宅できます。毎日設備に異常がないか丁寧に点検し、異常が見つかった場合、現場で対応できる修繕を行っています。現在は点検や修繕だけではなく、現場で使用する消耗品の発注業務も担当するようになりました。

大学では水処理を研究していたものの、配属当初は現場で使用する工具の扱いについても知らないことだらけでした。しかし、先輩が丁寧に指導をしてくれたことで自分も成長し、今では後輩を指導する立場になっています。

■資格への挑戦を推奨

当社では資格の取得が推奨されており、私も第二種電気工事士の資格を会社の支援制度を活用して取得しました。受験料などは会社が負担してくれますし、資格を取得すると報奨金が手に入るほか、毎月の給料に手当てが付くため、収入の増加という形で努力の成果を実感できます。取得が奨励されている資格は多岐にわたっており、さらなる資格取得に向け、通勤時間の合間などに勉強をして業務につなげて行きたいと思います。

就職活動の期間はさまざまな人の話を聞くことができます。たくさんの人の話を聞いて自分に合った会社を探す中で、地球環境に貢献していることが実感できる上下水道関係の仕事に興味があるのなら、ぜひ当社のインターンシップに参加していただければと思います。

地域密着でインフラと対峙

日本ヒューム
九州支社 営業部
福島 未玖さん

■来年で創業100周年

コンクリート製品の製造・販売や関連工法の開発、下水道を軸とするインフラ整備において貢献している総合コンクリート二次製品メーカーで、来年創業100周年を迎えます。現在入社3年目で九州支社にて営業を担当しています。

メーカーの営業＝自社製品のPRがメインかと思われるかもしれませんが、国土交通省をはじめとした各省や地方公共団体、建設コンサルタント、施工業者など多岐にわたる関係者の元に足を運び、どのような施設を整備するかの方向性を決めるグランドデザインや基本計画の段階、またその前段階から情報収集を行い、提案活動を行うことも主な業務内容になります。

■提案力こそ醍醐味

どうしたらプロジェクトがうまく進むかを考え、各方面に働きかけを行い相談に乗ることが営業の醍醐味で、単なるセールスマンではなくアドバイザーやコンサルタントのような役割・立ち回りが求められます。当初は現場打ちで検討されていた水道バルブ弁室（バルブボックス）を「工期を短くしたい」という要望があり、加えて、現場は運搬・据付が困難な山中だったので、小型車でも運搬ができるよう、分割タイプのプレキャスト製品を提案し、顧客より満足の声をいただきました。アイデアを膨らませ提案をすることにやりがいを感じています。

近年は豪雨災害の激化・頻発化を背景に、全国各地で浸水対策整備が進んでいます。特に九州は毎年のように風水害に悩まされていることもあり、浸水対策への関心が非常に高く、当社も多くの案件に関与しています。

都市化が進展したエリアで新たに貯留施設を造るとなると、調整・検討は一層複雑なものになります。事業規模・期間も壮大で、10年単位の案件も珍しくありません。じっくりと向き合う仕事となるため、常日頃から地域のさまざまな業種・立場の方と交流を深め、情報交換し、何かあれば気軽に相談していただけるような関係性の構築に努めています。

■安心と挑戦の土壌で

学生時代にニュージーランドへの留学経験があるのですが、実は同国の下水道インフラの耐震化に、当社が開発に関与した技術（フロートレス工法）が貢献していることを知ったときには驚きました。このように幅広い領域で活躍している点も当社の強みです。脱炭素や災害対策など社会・環境課題に関心の高い学生さんにとってもやりがいのある仕事だと思います。私自身の入社の決め手でもあった将来にわたって必要とされる仕事という点も、会社自身に非常に安心・安定感があってピッタリだったと思っています。地域密着でインフラに向き合いたい方はぜひ。

より良い提案ができる水コンへ

東京設計事務所
東京支社 プランニンググループ
上下水道第1チーム
渡邊 香奈さん

■上下水道に特化したコンサルに惹かれて

水コンサルタント会社を就職先に選んだのは、インフラ整備、その中でも人が生きていく上で必要不可欠である上下水道に携わりたいと思ったのがきっかけでした。大学院で土木を専攻し、大学院では浄水処理の膜ろ過について研究しました。事業の計画段階から技術的な面で専門家として関わることのできるコンサルタントの仕事に魅力を感じ、総合建設コンサルタントのインターンシップにも参加しましたが、より上下水道に特化した水コンで働きたいと思い、東京設計事務所に入社しました。

■手厚いサポートの下で挑戦、成長

入社当初はさまざまなプロジェクトに補佐として入り、上下水道計画の業務に触れました。上下水道計画の業務範囲は、上下水道事業体の管路・施設の耐震化計画や水道ビジョン、県の水道広域化推進プランの策定、水道料金改定の検討など多岐にわたります。水道ビジョンは中長期的な事業の方向性を定め、施設計画は新規整備や災害対策につながり、料金改定は市民の生活に直結するなど、業務の幅広さと重要性を改めて実感しました。

入社3年目に技術士の上下水道部門（上水道及び工業用水道）を取得し、その後は、管理技術者として業務を任されるようになりました。後輩もでき、プロジェクト責任者として業務を進めることにプレッシャーも感じます。一方で、プロジェクトメンバーでよく話し合い、より良い解決策を提案することがやりがいです。職場は、若手のうちから仕事を任せてもらえますし、上司のバックアップが手厚いです。上司・後輩関係なく意見を出しやすい社風で、チーム一丸となって業務に取り組んでいます。

技術士の資格取得に対しては、社内で希望者へのマンツーマンでの論文添削や、模擬口頭試験などが実施されています。充実したサポートがあり、今年は、技術士の最上位資格である総合技術監理部門、そして上下水道部門（下水道）にも挑戦し、両方の筆記試験に合格しました。

■人を大事にする会社

入社した決め手は、就職活動中に会った「人」でした。上下関係がフランクで風通しのよい雰囲気や、生き生きと仕事に取り組んでいることがわかり、活躍している女性社員の方と話す中で、自分もこの会社で働きたいと思いました。また、フレックスタイム制やテレワーク制度など福利厚生も充実し、社員を大事にしていると感じます。

東京設計事務所は、65年にわたり上下水道の調査・計画・設計業務を主として行っています。海外業務を専門とするグループ会社もあります。「誠実を旨とし、優れた技術者を育て、良い作品を残す」が社是となっています。時代・地域によって課題が異なり、明確な答えがない中で最適解を導くことが水コンの仕事の面白さです。上下水道事業に興味を持ってもらい、この業界で一緒に働けると嬉しいです。

2024年10月、荏原実業株式会社は、コーポレートブランド「Ebatens」を立ち上げました。
荏原実業
https://www.ejk.co.jp/
心地よい環境を、未来へつなぐ。
Ebatens